

1 改訂の要点

農業に関する内容が、学校の実態や立地条件及び地域性と深く関連していることを踏まえ、農業全般をとおし、地域社会への関心を高め、地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人を育成する視点から、〔指導項目〕として「農業の概要」を設けるなど学習内容等の改善・充実を図った。

2 目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(育成を目指す資質、能力)

(1) 農業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。(知識及び技術)

(2) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。

(思考力、判断力、表現力等)

(3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

(学びに向かう力、人間性等)

農業の見方・考え方とは、「農業や農業関連産業に関する事象を、安定的な食料生産と環境保全及び資源活用等の視点で捉え、持続可能な農業や地域振興と関連付けること」を意味している。

目標の(1)については、農作物の栽培や家畜の飼育等に関する基礎的・基本的な事項を理解し、農業や農業関連産業で一般的に必要とされる技術を身に付けることを意味している。

目標の(2)については、農業生物の栽培と管理、食品加工と管理、地域資源を生かした農業などの指導項目で、農業に関わる諸課題を発見し、農業及び農業関連産業に従事する者として求められる、職業人としての倫理観を踏まえて解決に向けて取り組み、解決する力を養うことを意味している。

目標の(3)については、農業を通して、社会に貢献する意識などを育み、卒業後企業等に就労し、地域や社会の健全で持続的な発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことを意味している。

3 内容とその取扱い

(1) 内容の構成及び取扱い

目標に示す資質・能力を身に付けることができるよう、(1)農業の概要、(2)農業生物の栽培と管理、(3)農業生物の飼育と管理、(4)食品加工と管理、(5)地域資源を生かした農業の五つの指導項目で内容を構成している。

(内容を取り扱う際の配慮事項)

〔指導項目〕の(2)から(5)までについては、生徒や地域の実態、学科の特色等に応じて指導項目を選択し、生徒が適切に履修できるようにすることが必要である。

学習指導要領第1章第2節第2款の3の(4)のアの規定に基づき、〔指導項目〕で示していない事項についても、農業に関する適切な事項があれば取り上げて指導することができる。その〔指導項目〕の選択に当たり考慮すべきこととしては、次の点が挙げられる。

(ア) 地域の環境条件に合った生産物で、学校の実態に沿うこと。

(イ) 技術的に平易で生産と管理が容易であること。

(ウ) 農業生産の基礎的な知識と技術の要素を多く含むこと。

(エ) 発育の成長過程が変化に富み、製品を食べたり、鑑賞したりして楽しむことができること。

(オ) 育成や収穫の時期、及び単年度あるいは複数の年度にわたって生産できるものなど、それぞれの特徴を考慮し、適切に選ぶことができること。

〔指導項目〕の(2)のイについて内容を取り扱う際には、各学校においては、生徒の実態等に応じて、作物、野菜、果樹、草花、樹木の中から選択し、生徒が適切に履修できるようにする必要がある。なお、作物、野菜、果樹、草花、樹木以外でも、その他の農作物に係る栽培と管理で適当なものがあれば取り上げて指導することができる。その際でも、身に付けた技術が社会生活で有効に活用されるよう計画することが大切である。

実験・実習を行うに当たっては、関連する法規等に従い、実習室の施設・設備の定期点検と整備を実施し、安全管理や衛生管理を徹底することが必要である。

(2) 内容（解説での構成例）

〔指導項目〕

(1) 農業の概要

ア 農業の意義と役割

イ 農業の基礎

ウ 農器具や農業機械，コンピュータ等の情報機器の取扱い

ここでは，教科の目標を踏まえ，農業が日常生活に深く関わっていることについての知識などを基盤として，農業の意義について自らの考えをもつとともに，組織の一員として農作物の栽培や家畜の飼育，生産品の販売などに取り組もうとする意識と意欲を高めることができるようにすることをねらいとしている。

このねらいを実現するため，次の①から③までの事項を身に付けることができるよう，〔指導項目〕を指導する。

- ① 農業が社会で果たしている意義と役割について理解するとともに，職業生活に必要なとなる技術を身に付けること。 **（知識及び技術）**
- ② 農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から，よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し，工夫について考え，表現すること。 **（思考力，判断力，表現力等）**
- ③ 農業の意義と役割などについて自ら学ぶこと。 **（学びに向かう力，人間性等）**

ア 農業の意義と役割

ここでは，農作物の栽培や家畜の飼育，多様な農業生産品などが日常生活に深く関わっていることについて取り上げ，農業が社会において果たしている役割や重要性などについて扱うこと。

イ 農業の基礎

ここでは，農作物の栽培や家畜の飼育，食品加工等に関する初歩的な事項について取り上げ，農業で一般的に必要なとされる技術や態度について扱うこと。

ウ 農機具や農業機械，コンピュータ等の情報機器の取扱い

ここでは，農業で用いられるクワやスコップなどの農機具，耕耘機や脱穀機などの機械，温度管理や生産物管理等のコンピュータ及びその周辺機器，複写機，食品加工に関する機械，計量器，通信機器などについて取り上げ，農機具や簡単な機械，コンピュータ等の名称，用途，操作手順，保管・管理等の理解について扱うこと。

解説では以降，(2)農業生物の栽培と管理，(3)農業生物の飼育と管理，(4)食品加工と管理，(5)地域資源を生かした農業の五つの指導項目で内容を解説しているので参考にされたい。

(3) 指導計画の作成に当たっての配慮事項

解説では，農業科の指導計画の作成に当たり，生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を進めることとし，農業科の特質に応じて，効果的な学習が展開できるように配慮すべき内容が示されているので参考にされたい。